



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月7日

上場会社名 太陽誘電株式会社

上場取引所 東

コード番号 6976 URL <http://www.ty-top.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 登坂 正一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営企画本部 副本部長 (氏名) 福田 智光

TEL 03-6757-8310

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	168,013	2.7	29,618	14.5	35,559	0.0	24,880	12.5
2022年3月期第2四半期	172,670	23.1	34,655	81.2	35,544	95.5	28,448	148.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 36,039百万円 (24.0%) 2022年3月期第2四半期 29,058百万円 (126.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	199.67	199.04
2022年3月期第2四半期	226.60	225.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	512,341	331,440	64.5	2,652.41
2022年3月期	474,522	300,286	63.1	2,403.20

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 330,513百万円 2022年3月期 299,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		40.00		40.00	80.00
2023年3月期		45.00			
2023年3月期(予想)				45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	342,000	2.2	42,000	38.4	48,000	33.5	33,500	38.4	268.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	130,218,481 株	2022年3月期	130,218,481 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	5,609,910 株	2022年3月期	5,609,656 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	124,608,701 株	2022年3月期2Q	125,546,791 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
決算説明会にて使用した資料等については、開催後速やかに当社のホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足情報	9
(1) 製品別売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日まで)における当社グループを取り巻く経営環境は、世界景気は緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、地政学リスクの増大などによる原材料費、物流費の上昇や新型コロナウイルス感染症拡大による一部地域での大規模ロックダウンなどがありました。先行きについては、感染症の動向や国際情勢、世界的な金融引締めが進む中での金融資本市場の変動や世界的な需要環境の動向を注視する必要があります。

当社グループは、中期経営計画2025に掲げた目標の実現に向けて自動車、情報インフラ・産業機器を中心とした注力すべき市場の売上比率を50%に高めることを目指しています。さらに、ハイエンド商品、高信頼性商品を中心とした高付加価値な電子部品を創出し、主力事業の積層セラミックコンデンサのさらなる成長に加え、インダクタと通信デバイスを強化してコア事業として確立していきます。また、需要拡大に対応するための継続的な能力増強に加え、環境対策やIT整備に向けた積極的な取り組みを実施し、5年間で3,000億円規模の設備投資を計画しています。

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は1,680億13百万円(前年同期比2.7%減)、営業利益は296億18百万円(前年同期比14.5%減)、経常利益は355億59百万円(前年同期比0.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は248億80百万円(前年同期比12.5%減)となりました。第1四半期連結累計期間に発生した一部地域における大規模なロックダウンや中国スマートフォンを中心とした部品需要減少の影響などにより、売上高、営業利益は減少したものの、為替差益の発生などにより経常利益は前年並みとなりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等の増加などにより減少しました。

当第2四半期連結累計期間における期中平均の為替レートは1米ドル129.89円と前年同期の平均為替レートである1米ドル109.55円と比べ20.34円の円安となりました。

製品別の売上高は次のとおりであります。

[コンデンサ]

積層セラミックコンデンサなどが含まれます。

当第2四半期連結累計期間は、情報機器、自動車、情報インフラ・産業機器向けの売上が前年同期比で増加しましたが、通信機器向けの売上が前年同期比で減少したことにより、売上高は1,110億21百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

[インダクタ]

巻線インダクタ、積層インダクタなどの各種インダクタ商品が含まれます。

当第2四半期連結累計期間は、情報インフラ・産業機器向けの売上が前年同期比で減少しましたが、民生機器、情報機器、通信機器向けの売上が前年同期比で増加したことにより、売上高は269億5百万円(前年同期比11.0%増)となりました。

[複合デバイス]

モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)、回路モジュールなどが含まれます。

当第2四半期連結累計期間は、モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)、回路モジュールの売上が前年同期比で減少したことにより、売上高は174億36百万円(前年同期比32.8%減)となりました。

[その他]

アルミニウム電解コンデンサ、蓄電デバイスなどが含まれます。

当第2四半期連結累計期間は、自動車向けを中心にアルミニウム電解コンデンサの売上が前年同期比で増加したことにより、売上高は126億49百万円(前年同期比23.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対して378億19百万円増加しました。そのうち流動資産は156億45百万円増加しており、主な要因は、仕掛品の増加118億44百万円、商品及び製品の増加84億94百万円、受取手形及び売掛金の減少32億61百万円、現金及び預金の減少31億11百万円であります。また、固定資産は221億74百万円増加しており、主な要因は、有形固定資産の増加218億64百万円であります。

負債は66億64百万円増加しました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の増加143億24百万円、支払手形及び買掛金の減少39億96百万円、未払法人税等の減少39億58百万円であります。

純資産は311億54百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益248億80百万円と剰余金の配当49億84百万円による、利益剰余金の増加198億96百万円、及び円安等の為替影響による為替換算調整勘定の増加110億27百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは177億78百万円の収入（前年同期比49.8%減）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益349億82百万円、棚卸資産の増加172億88百万円、減価償却費163億25百万円、法人税等の支払額136億59百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは315億12百万円の支出（前年同期比50.5%増）となりました。主な要因は、固定資産の取得による支出320億57百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは61億99百万円の収入（前年同期比177.8%増）となりました。主な要因は、長期借入れによる収入150億円、配当金の支払額49億74百万円、長期借入金の返済による支出33億85百万円であります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対し32億30百万円減少し、853億79百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。（前年同期比）

	連結累計期間
売上高	342,000百万円（2.2%減）
営業利益	42,000百万円（38.4%減）
経常利益	48,000百万円（33.5%減）
親会社株主に帰属する当期純利益	33,500百万円（38.4%減）

当第2四半期連結累計期間の実績及び今後の需要予測等に基づき、上記のとおり通期業績予想を修正いたしました。

第3四半期連結会計期間以降につきましては、各国で金融引締めが進む中で世界経済の減速が懸念されております。また、パソコンやスマートフォン、データセンターなどを中心とした生産台数の減少や在庫調整などにより、電子部品の需要環境は期初の想定より悪化することが見込まれます。

なお、ロシア・ウクライナ両国において、当社グループの拠点、重要な顧客やサプライヤーはありません。両国向けの売上高は僅少であり、業績に与える直接的な影響は軽微であると想定しております。また、新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、第1四半期連結累計期間に発生した一部地域における大規模なロックダウンの影響がありました。第3四半期連結会計期間以降は特段の影響が発生しない前提としています。

第3四半期連結会計期間以降の期中平均為替レート的前提は、1米ドル143円です。

※ 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績予想は、将来に関する現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。さまざまな潜在的リスクや不確定要因により、実際の業績が記載された予想数値と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	92,570	89,459
受取手形及び売掛金	86,585	83,323
商品及び製品	29,504	37,998
仕掛品	44,243	56,088
原材料及び貯蔵品	23,033	24,026
その他	6,981	7,700
貸倒引当金	△311	△343
流動資産合計	282,607	298,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	120,596	124,158
機械装置及び運搬具	335,309	352,495
工具、器具及び備品	33,773	35,607
土地	15,179	15,444
建設仮勘定	28,603	43,208
減価償却累計額	△348,527	△364,111
有形固定資産合計	184,936	206,801
無形固定資産		
その他	1,340	1,376
無形固定資産合計	1,340	1,376
投資その他の資産		
投資有価証券	1,505	1,484
その他	4,132	4,426
投資その他の資産合計	5,637	5,910
固定資産合計	191,914	214,088
資産合計	474,522	512,341

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,828	28,832
短期借入金	20,200	20,200
1年内返済予定の長期借入金	4,035	18,360
未払法人税等	13,967	10,009
賞与引当金	5,890	6,393
役員賞与引当金	679	70
その他	29,412	30,959
流動負債合計	107,013	114,824
固定負債		
長期借入金	48,749	46,039
役員退職慰労引当金	31	35
退職給付に係る負債	5,315	5,552
その他	13,126	14,447
固定負債合計	67,222	66,075
負債合計	174,235	180,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,575	33,575
資本剰余金	49,908	49,908
利益剰余金	221,178	241,074
自己株式	△13,454	△13,455
株主資本合計	291,207	311,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	518	446
繰延ヘッジ損益	△190	△38
為替換算調整勘定	8,246	19,273
退職給付に係る調整累計額	△321	△270
その他の包括利益累計額合計	8,252	19,411
新株予約権	826	927
純資産合計	300,286	331,440
負債純資産合計	474,522	512,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	172,670	168,013
売上原価	111,205	110,257
売上総利益	61,465	57,755
販売費及び一般管理費	26,809	28,136
営業利益	34,655	29,618
営業外収益		
受取利息	130	252
受取配当金	23	50
為替差益	602	5,496
助成金収入	241	241
その他	232	170
営業外収益合計	1,229	6,210
営業外費用		
支払利息	197	219
休止固定資産減価償却費	45	13
その他	97	37
営業外費用合計	340	269
経常利益	35,544	35,559
特別利益		
固定資産売却益	8	23
投資有価証券売却益	497	-
受取保険金	61	-
その他	0	-
特別利益合計	567	23
特別損失		
固定資産除売却損	282	569
減損損失	56	4
その他	28	26
特別損失合計	368	599
税金等調整前四半期純利益	35,743	34,982
法人税、住民税及び事業税	8,354	9,791
法人税等調整額	△1,060	310
法人税等合計	7,294	10,102
四半期純利益	28,448	24,880
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,448	24,880

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	28,448	24,880
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△612	△71
繰延ヘッジ損益	3	151
為替換算調整勘定	1,159	11,027
退職給付に係る調整額	57	51
その他の包括利益合計	609	11,158
四半期包括利益	29,058	36,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,058	36,039

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	35,743	34,982
減価償却費	14,972	16,325
減損損失	56	4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	12
賞与引当金の増減額(△は減少)	892	449
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△53	△608
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△20	4
受取利息及び受取配当金	△154	△303
支払利息	197	219
固定資産除売却損益(△は益)	274	546
投資有価証券売却損益(△は益)	△469	-
助成金収入	△128	△99
売上債権の増減額(△は増加)	114	9,381
棚卸資産の増減額(△は増加)	△12,276	△17,288
仕入債務の増減額(△は減少)	1,520	△4,313
その他	632	△7,976
小計	41,312	31,336
利息及び配当金の受取額	149	290
利息の支払額	△177	△188
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,858	△13,659
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,426	17,778
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△21,418	△32,057
固定資産の売却による収入	15	29
定期預金の増減額(△は増加)	△824	128
投資有価証券の売却による収入	879	-
助成金の受取額	328	199
その他	76	188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,942	△31,512
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	7,000	-
長期借入れによる収入	-	15,000
長期借入金の返済による支出	△1,234	△3,385
自己株式の取得による支出	△6	△1
配当金の支払額	△3,130	△4,974
リース債務の返済による支出	△397	△438
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,231	6,199
現金及び現金同等物に係る換算差額	852	4,304
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	17,568	△3,230
現金及び現金同等物の期首残高	81,785	88,609
現金及び現金同等物の四半期末残高	99,354	85,379

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 製品別売上高

製品区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		増減	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
コンデンサ	112,244	65.0	111,021	66.1	△1,222	△1.1
インダクタ	24,250	14.0	26,905	16.0	2,655	11.0
複合デバイス	25,936	15.0	17,436	10.4	△8,500	△32.8
その他	10,239	5.9	12,649	7.5	2,409	23.5
合計	172,670	100.0	168,013	100.0	△4,657	△2.7